



柳 和

題字：西澤道生校長先生



平成30年 3月 2日(金)

柳町中学校 2学年通信

No. 22 担当：中島研一

花咲く春は、そこまで来ています

3月に入り、街の風景も、春に向かって動きが出ています。

学校のひと足早い春には、入学試験で迎える春があります。来週7日(水)は公立高校後期入試日です。入学試験が終わって帰る3年生の姿には、きっと安堵の色が漂うことでしょう。

合格発表は16日(金)、「合格おめでとう!…人間として大きな成長をとげる、かけがえのない日々となります。…受験を応援して下さったご家族や周りのすべての方への感謝を忘れずに…」

それは、その場に立ち会った者にとって、生涯忘れることのできない感動となることでしょう。

入試を乗り切れば「新たな世界」が待ち受けています。

行学の二道を励み候べし

行学の二道。「学の道」とは、一生懸命勉強することです。「行の道」とは、行いをしっかりとしましようということです。人をいじめたり、友達の悪口を言ったりしていると、その人は大きくなると人から相手にされなくなります。一番やってはいけないことは、人をいじめること、お父さんお母さんを悩ませることです。

その行の道のための5つの実践をしていきましょう。それは、「あいさつ」「食前食後の感謝」「学校への出入り」「身だしなみ、整理整頓」「思いやり」です。

あいさつについてです。朝、目を覚ましたら家族に「おはようございます」。学校に行くときは「行ってきます」。学校に着いたら友達や先生に「おはようございます」。友達に迷惑をかけたなら「ごめんね」とお詫びができる。名前を呼ばれたら「はい」と返事ができて、いいことをしてもらったら「ありがとう」とお礼が言える。帰るときは「さよなら」、家に帰ったら「ただいま」、寝る前は「おやすみなさい」。そういうあいさつがきちっとできる心がけをもちましょう。

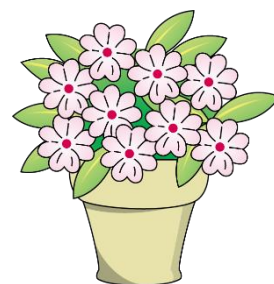
食前食後の感謝の実践ですが、私たちは毎日、野菜や家畜などの生きている命を頂戴しています。だから、「いただきます」。終わったら「ごちそうさま」。そんなふうに、食前食後にきちんとと言える中学生になってもらいたいです。日本人には「もったいない」という言葉があります。尊い命を頂戴しているという気持ちがあれば、ものをそまつにしない、無駄にしないという日本の文化を実践できるでしょう。

学校への出入り、例えば、スポーツ選手は、負けても勝っても礼で終わります。学校は遊び場ではありません。身体を鍛え、心を鍛えていく厳粛な場ですから、入るとき一礼、帰るとき一礼できる、けじめのある生徒になっていきましょう。

身だしなみ、整理整頓の実践。心が乱れている人は、服装が乱れます。整理整頓や身だしなみができない人は、勉強ができません。だから、しっかりと服装もちゃんと整え、身の回りの整理整頓はちゃんとやる。脱いだ靴はそろえる。使った椅子は戻す。こうやって、身だしなみや整頓ができるような素晴らしい人になっていく。これが心掛けです。

最後に**親切、思いやり**の実践。これが一番皆さんにやってもらいたいことです。家の中で、家族に親切にすること。学校ではお友達や先生にも親切にすること。みんなが気持ちよく授業ができるように、ちょっとした心がけをすること。いろいろな人に親切にする。そういうことを心掛けてもらいたいです。

行学の二道に励みましょう。勉強をしっかりやって、希望の進路に進み、立派な仕事につけるようになりましょう。人に不愉快な思いをさせる人には



ならないようにしましょう。

当面の予定

日	曜	1	2	3	4	食事	5	6	行事	
5	月	72	73	74	75	○	総		3年生を送る会リハーサル	
6	火	91	92	93	94	○	95	学		
7	水	55	51	54	53	○	52		公立高校後期入学者選抜①	
8	木	1	2	3	4	○	5	音	音楽集会（公立高校後期入学者選抜②）	
9	金	81	82	83	84	○	85	86		
10	土									
11	日									
12	月	61	62	63	64	○	66	学		
13	火	総	総	16	11	○	総	総	3年生を送る会	
14	水	式	学	練習	掃学	○	練準		3学期終業式	
15	木	卒業証書授与式			学	×			第71回卒業証書授与式	
16	金	春休み（4月4日まで）								



修学旅行について

過日の参校日には、多数の皆様に来校いただき、ありがとうございました。本年度最後の参校日、授業のようす、生活のようす、学年学級PTAのようすなどで、ご意見がありましたらお寄せください。さて、修学旅行について以下確認いたします。

☆**保険証のコピーについて**→事前に集めることはしません。用のある場合は、宿または病院へFAXしていただくことになります。

☆**行動費について**→諸物価の値上がり等を考慮し、11000円とします。

☆**参加確認表を、3月9日（金）までに、各担任へ提出ください。**

声なき声を聞き取る

私が教員生活で、子どもたちとの関わりの中で、一番気を使っているのは、声なき声を聞くことです。

こんなことがありました。昔、修学旅行の学級別行動でどこに行くかをクラスで決めるとき、声の大きい元気のいい生徒たちが、□□に行きたいと積極的に提案しました。そして、他の生徒たちに「みんな□□でいいよな」と圧力をかけていました。私は、白い紙をすべての生徒に配り、匿名で、○か×で多数決を取りました。結果は、□□に行くことに○をつけたのは、彼ら数人でした。

自分の意見を言わないということは、自分の意見がなくて何も考えていないということではないと思います。意見を言わない生徒たちにも、自分の意見はあります。ただ、それを出すことができないだけなのです。私は、これを声なき声と呼んでいます。声なき声を聞き取るのは大変難しいことです。

私は、何でも聞くことができる人間になろうと思っていますが、未だになれません。

昨今の「いじめ問題」もそうです。いじめられている側は、なかなか訴えることができません。誰にどう訴えていいのかわかっていることでもあります。行動や表情の変化などに、敏感に反応し、こちらから声をかけていかなくてはなりません（なかなか実践できませんが）。

お願いがあります。私たちの周りには、きっとたくさんの自分の意見をなかなか表現できない、出すことのできない人たちがいます。みなさんは、その人たちの声を感じ取れる人となってください。

